

鳥取市の竹内功市長は14日の市議会本会議で、庁舎の中枢機能を現本庁舎に残すか、新設する施設（同市幸町の旧市立病院跡地）などに移すかについて、全体構想をまとめた後に明確にする考えを示した。

同日の本会議では、市庁舎整備問題について3議員から質問が飛んだ。

清和会の中島規夫議員と会派「結」の橋尾泰博議員は、位置条例で定める庁舎の中枢機能の場所について質問。竹内市長は「中枢管理機能は、これからどういう形でどこに整備していくか議論してからでなければ、話ができない」と答えた。

共産党の角谷敏男議員は「住民投票を無視も否定もしていないと言い張ったまま、事業を進めるのを市民が認めるだろうか。信を問うことが先決ではないか」と詰め寄ったが、竹内市長は「住民投票からくみ取るべき民意として、費用を抑制するという市民の意識を重視し（構想を）まとめている。市民にその内容を聞いてもらい、議会に提案し、前進させようとしている」とかわした。次回の一般質問は、17日に予定されている。【高嶋将之】